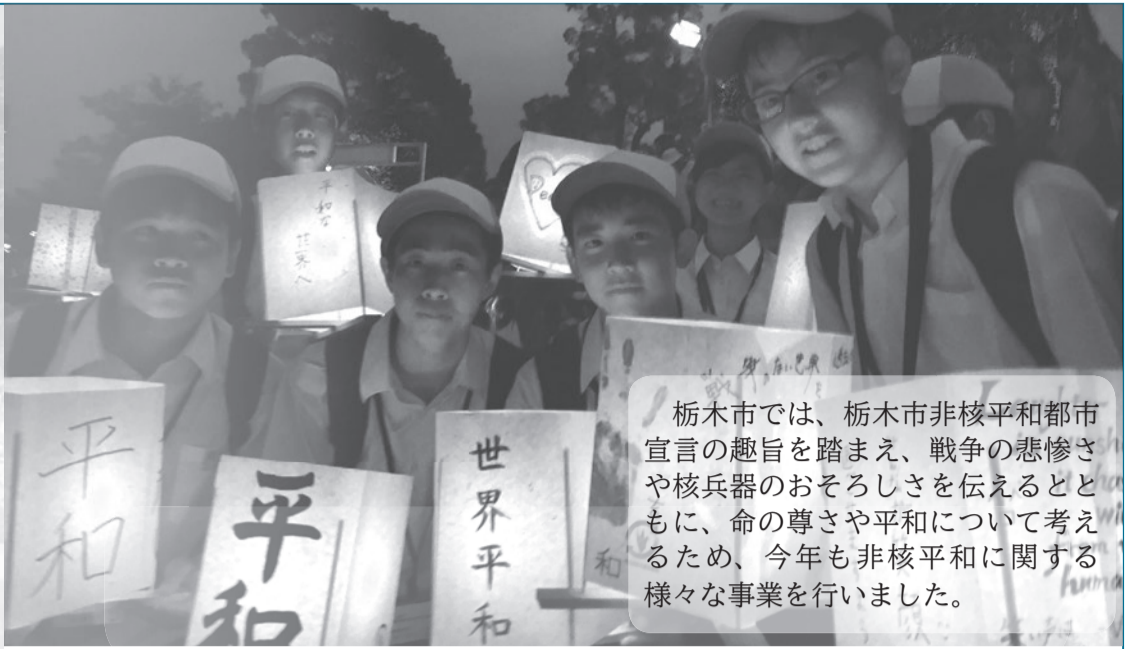


栃木市の非核平和事業



栃木市では、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の尊さや平和について考えるため、今年も非核平和に関する様々な事業を行いました。

とちぎ平和展

6月28日から8月14日まで、市内の6施設で広島・長崎への原子爆弾投下後の惨状を収めた写真パネルや、昨年度の広島平和記念式典中学生派遣活動記録などを展示しました。また、栃木文化会館での開催時には丸木美術館所蔵の「原爆の図」の複製画や、戦時中に使用されていた軍服等の現物資料も展示しました。

来場者からは「今まで知らなかった事がたくさんあり、勉強になった」「原爆の図の大きさ、迫りに圧倒された」「怖かった。これから先、絶対戦争は起きてほしくないと思った」「衝撃的で言葉に出来ない」「もっとたくさんの方に見て欲しい展示だと思った」等の感想が寄せられました。

会場に設置した折り鶴コーナーで折られた鶴は、千羽鶴にし、来年、広島「原爆の子の像」に奉納する予定です。

戦争体験を聞く会

戦争体験を風化させることなく後世に伝えていくため、「戦争体験を聞く会」を開催しました。7月22日には真名子夢ホールにて山口スミさんと阿部洋子さんに、8月12日栃木文化会館にて、秋元武夫さんと梁島宏光さんに、戦時中や終戦後の体験を語っていただきました。

大きな被害が出た宇都宮大空襲に遭遇し、焼夷弾が降り注ぐ中、命からがら家族で逃れた話や、東京からの学童集団疎開により当時の下都賀郡赤津村（現栃木市都賀地域）に疎開し、物資や食料が乏しい中苦勞しながら生活した話、終戦後に旧ソ連で厳しい労働を強いられた抑留生活の体験談など、実際に体験した方だからこそ語れる戦争の真実に、参加者は熱心に耳を傾けて



いました。

参加者からは「悲惨な体験が伝わってきた。絶対に戦争をしないといけないと痛感した」「当時の大変さをうかがい知ることができた」「テレビ、新聞での報道以上の生の声に感動した」「体験者の生の声を耳にし胸を打たれた」等の感想が寄せられました。

広島平和記念式典への中学生派遣

「広島平和記念式典中学生派遣団」として市立中学校（全14校）から2年生2人ずつ、計28人を広島へ派遣しました。派遣された中学生は原子爆弾の恐ろしさを現地を感じ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました。

- 8月5日 平和記念公園・平和記念資料館の見学
- 8月6日 平和記念式典参列、宮島見学、元安川灯ろう流し参加
- 8月7日 「原爆の子の像」への千羽鶴奉納、被爆体験講話学習

平和記念式典参列

8時に平和記念式典が始まり、原爆死没者名簿奉納、代表者による献花が行われました。そして、原子爆弾が投下された8時15分に、鐘の音とともに黙とうが行われ、平和への祈りをささげました。

【派遣団員の活動報告からの抜粋】

「式典には日本人だけではなく、外国の方も多く参加しており、73年前にこの場所で起きたことがどれほどのことだったのかを思い知らされたような気がしました。」
「再びあのような惨事が起きることがないように、今回広島で学んだことを生かし、僕も世界平和に貢献したいです。」

「広島市内の子ども代表による平和への誓いの言葉の中に『苦しみや憎しみを乗り越え、平和な未来をつくらうと懸命に生きてきた広島の人々』という言葉がありました。もし自分が、原子爆弾が投下された場所に居て、大切な人を亡くしてしまったら、苦しすぎて生きていく自信をなくしてしまいます。しかし、広島の方々は、決してあきらめようとせず、逆に平和な未来のために行動していることが、本当にすごいと思います。」

被爆体験講話学習

被爆された方の講話を通し、原爆被害の実態と被爆体験を直接伺いました。（講師 末岡昇さん）

【派遣団員の活動報告からの抜粋】

「一発の爆弾で、一つの町が壊れる。」この言葉から、原爆がもたらす被害とその悲惨さがとても伝わってきました。たった一発の原子爆弾であれほどまでの死者を出し、都市を破壊する力を持つ、こんなものが世の中に存在してはいけないと思うほど、恐怖が伝わってきました。」

「僕は今回聞いた話を家族や学校の友達に伝え、多くの人に知ってもらいたいです。そうすることによって戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを、平和であることがどれだけすばらしい事かを感じてもらえると思います。」

「一発の原子爆弾によって14万人の人が亡くなりました。みんな「死」というものに無感情になってしまったとおっしゃっていました。核兵器は体だけではなく心も殺してしまう恐ろしいものなんだとあらためて感じました。」

「原爆の子の像」への千羽鶴奉納

各中学校で心を込めて作成していただいた千羽鶴や、とちぎ平和展等で市民の皆さんに作っていただいた折り鶴は、大切に「原爆の子の像」に奉納してきました。ご協力ありがとうございました。



広島平和記念式典中学生派遣報告会

8月24日、派遣団員の中学生が、今回の派遣で学んだことや感じたことを市民の皆さんの前で発表しました。今後は各校の学祭などで発表し、原爆の恐ろしさや平和の尊さを全校生徒に伝えます。

問合せ 総務課 ☎(21)2342



1 被爆された方の講話を熱心に聞く生徒の皆さん / 2 心こもった千羽鶴を奉納しました / 3 原爆ドーム前にて、派遣団全員で